

## 沖縄県サンゴ礁保全推進協議会・第18回理事会議事録（案）

- 日時：平成27年6月6日（土）11:00～12:30
- 場所：宜野湾マリン支援センター
- 出席（役員）：中野義勝、八重山サンゴ礁保全協議会（吉田稔）、沖縄県ダイビング安全対策協議会（案納昭則）、エコガイドカフェ（猪澤也斗志）、上原直（NPO法人グローイングコーラル）、環境省那覇自然環境事務所（小池大二郎）、WWF ジャパン（権田雅之）、自然保護・緑化推進課（謝名堂聡）、宮古島マリンリゾート協同組合（新村一広）、西平守孝、沖縄エコツーリズム推進協議会（花井正光）、藤田喜久、沖縄県立博物館・美術館（山崎仁也）
- 委任状：安部真理子（沖縄リーフチェック協会）、岡地賢（コーラルクエスト）、梶原健次、木村匡、後藤亜樹、佐藤崇範
- 事務局長：沖縄県環境生活部自然保護・緑化推進課（中村章弘）
- 事務局：沖縄県環境生活部自然保護・緑化推進課（出井航）
- 運営委員：沖縄県環境科学センター（山川英治）
- 議事録署名人：グローイングコーラル（上原直）、沖縄エコツーリズム推進協議会（花井正光）

役員23名中、上記13名の出席者（会長、副会長、理事10名、事務局長）および6名の委任状により、成立要件である理事の過半数を満たしたので成立、内容を協議し決定した。

議事録署名人としてグローイングコーラル（上原直）、沖縄エコツーリズム推進協議会（花井正光）が選出された。

### 【アンダーライン部分が理事会での決定事項】

### 【「・」は説明事項および提言事項】

### 【「→」は説明事項や提言事項に対する意見】

#### （1）将来委員会について（資料1）

- ・事務局より将来委員会の委員の提案があり、提案された委員について承認された※。また、企画委員長を委員に追加したいと提案があった。提案された委員は以下のとおり。

委員長：吉田稔

委員：中野義勝、西平守孝、花井正光、藤田喜久、佐藤崇範、謝名堂聡、権田雅之

- ・今回決まった将来委員会の委員に若手がない。協議会の将来を考える上で、若手からの意見は必要だと思う。委員は後で追加できるのか？

→委員会の細則によるが、追加はできる※。将来委員会の目標等が決まった後で、若手の会員に参加してもらえるように検討してはどうか。

- ・将来委員会のメーリングリストを作成する。

#### ※事務局補足

- ・規約上では、委員会の委員長は会長が任命する必要がありますが、理事会での承認は必要ありません。
- ・規約上では、委員会の構成は会員の有志によるので、協議会会員であれば、だれでも委員に

なれます。また、会員でなくとも、オブザーバーとして参加できます。

## (2) サンゴ礁ウィーク 2016 について (資料 2)

- ・事務局よりサンゴ礁ウィーク 2016 実施体制及びスケジュールが提案された。

→

→広報委員会より、広報委員会で広報先のリストを作成するので、リストの確認と広報の協力を依頼（特に SNS）。

→実施要領等は事務局が作成する。

→実施者が集まって報告などを行う機会があるとよい。離島からも参加できるように旅費についても検討する。

→7～8 月にサンゴ礁ウィークのイベントに参加決定できない団体もいるのではないか？国際サンゴ礁年の時のように、ホームページから簡単に登録できるようにしてはどうか？

→スケジュールを「参加イベントの公募」から「参加者・参加団体の公募」とすることで、イベントの内容が具体的に決まっていなかった人たちも参加できる。

## (3) その他

案対協写真展について（～1:01:20）

- ・ダイビング安全対策協議会解散について。解散となった場合、空港で行っている写真展を、協議会主催でできないか？ 経費もかかるが、広報活動として利用していただきたい。まだ解散が確定してはないので、確定した場合はメーリングリストで提案したい。

→時間も限られているので、事務局に一任したい。

事務局と案納さんの間で具体的に詰めていくことが承認された。